

事業所名

児童発達支援：かいんどはびすま

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

10日

法人（事業所）理念		<p>「かいんどはびすま」とはkindness make a happy smile～やさしさが しあわせな 笑顔をつくる～ 発達障害のお子様そして保護者に寄り添い、苦手なことやできないことも個性の一つと考え、ゆっくりリモールステップでできることを増やせるようにする。また、たくさん賞賛することで自信をつけ、自己肯定感を高められるようにする。温かく優しい気持ちで子どもたちに寄り添うことで子どもたちのしあわせな笑顔を導き出すことができるようにする。このような理念の下、日々職員が共通理解を図りながら、楽しく子どもたちと共に成長できる施設を目指している。</p> <p>○住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、地域福祉の推進に努める。 ○人間としての尊厳と社会連帯の思想を基本に、公平公正な運営を目指す。 ○ご利用者の基本的な人権を尊重し、個々の能力に応じ日常生活に必要な福祉サービスの提供に努める。 ○職員の資質向上を図ると共に、一人一人が目標を持ち質の高いサービスを提供できるように努める。</p>													
支援方針		<p>凸凹〈個性〉に寄り添う学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できること、苦手なことその一つ一つを「個性」ととらえ、自信を持たせ自己肯定感を高める。 ・お子様だけでなく保護者の皆様、ご家族の皆様にも寄り添い、笑顔で生活できるように努める。 ・お子様にとって楽しく興味関心のもてる療育プログラムの提供や、安心して生活できる場、関われる人を増やせるようにする。 <p>○心に寄り添うケア ○心が通うケア ○心が温かくなるケア ○心が明るくなるケア ○心と心をつなぐケア ○心から愛され応援されるケア</p>													
営業時間		平日	9	時	0	分	から	17	時	0	分	まで	送迎実施の有無	あり なし	送迎が有りの際は 下妻市、常総市、八千代町、筑西市 (片道30分の範囲内での送迎)
		祝日	8	時	50	分	から	16	時	50	分	まで			
支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	<p>①通所児の検温、顔色、表情の確認、言動から健康状態や心身の状態を把握し、体調の変化があれば受診を促したり、保護者への報告など適切な対応を行う。 ②あいさつの仕方やお願いの仕方など、人と人との関わりの中で必要となる生活スキルを習得できるようにする。 ③気温に合わせた衣服の着脱、ボタンやファスナーなどの開け閉めなど基本的な生活習慣の衣服の着脱が習得できるようにする。 ④手洗いや歯磨き、お口ふきなど基本的な生活習慣の清潔を習得できるようにする。 ⑤時間を決めた排泄への誘導や排泄の仕方、排泄後の処理の仕方、衣服の整え方など基本的な生活習慣の排泄が習得できるようにする。 ⑥おやつの中には着座し、スプーンやフォーク、箸を使い、咀嚼、嚥下、姿勢保持など基本的な生活習慣の食事の習慣が習得できるようにする。 ⑦遊びや体験活動の準備や片付けが意欲的にできるようにする。</p>													
	運動・感覚	<p>①姿勢を保ち、体幹を鍛える運動遊びを設定する。 ②視覚・聴覚・触覚等の間隔を十分に活用できるような運動あそびを設定する。 ③感覚の特性、過敏・鈍麻へ対応し、感覚あそびを設定する。 ④音楽リズムあそびでは、自分の身体をイメージできるように支援する。 ⑤マッチング、身の回りの物事の知識と理解、概念、記憶、思考力などを養う課題を設定する。 ⑥読み書き計算など学習の基礎スキル習得ができるようにする。 ⑦制作・音楽・運動等を通じて認知能力の向上を支援し、様々な活動に活用できることを目指す。 ⑧日常生活や学習に支障のある困った行動を減らすために、ABA（応用行動分析）的介入を行う。</p>													
	認知・行動	<p>①マッチング、身の回りの物事の知識と理解、概念、記憶、思考力などを養う課題を設定する。 ②読み書き計算など学習の基礎スキル習得ができるようにする。 ③制作・音楽・運動等を通じて認知能力の向上を支援し、様々な活動に活用できることを目指す。 ④日常生活（こだわり、偏食）や学習に支障のある困った行動を減らすために、ABA（応用行動分析）的介入を行う。 ⑤コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。</p>													

	言語 コミュニケーション	<p>①音声指示、物の命名などの課題を通じて、言葉の理解を養う。 ②音声模倣や物の表出的命名などの課題を通じて音声言語の獲得を目指す。 ③音声言語の獲得が困難な場合には、代替コミュニケーションを指導する。 ④発達の特性に応じた、書くこと、読むこと等の課題を設定する。 ⑤文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。</p>		
	人間関係 社会性	<p>①集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。 ②身体遊びを通じてアタッチメントを形成し、人間関係の基礎を構築する。 ③感覚的な遊びから、ふり、見立て、ごっこ遊びなどの象徴遊びへと発展させることで想像力を養っていく。 ④ごっこ遊びなどの関わり遊びからルールや役割のある遊びへの発展を通じて社会性の発達を支援する。 ⑤気持ち・情動のコントロールや、他者との適切な関わり方を学ぶためのソーシャルスキルトレーニングを必要に応じて実施する。</p>		
	家族支援	<p>○アタッチメント（愛着）の安定 ・子どもの信頼感を育むとともに、子どもの感情や不安に寄り添い、家族や周囲の人と安定した関係を継続するための支援する。 ○家族からの相談に対する適切な助言等 ・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ・子どもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援 ・子どもの支え方や食事のとり方等の具体的な介助方法についての助言・提案 ・家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預かりニーズに対応するための延長支援 ・心理的カウンセリングを実施する。（随時）</p> <p>・保護者おしゃべり会を実施し、保護者同士の交流の機会の提供する。（1回／3ヶ月） ・きょうだい同士の交流の機会の提供やきょうだいに対する相談援助を行う。</p> <p>○障害の特性に配慮した家庭環境の整備 ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講座、ペアレント・トレーニングを実施する。 ・家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供をする。</p>	移行支援	<p>○保育所等への移行支援、ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 ・具体的な移行や将来的な移行を見据えた子どもの発達の評価・支援を行う。 ・具体的な移行先との調整を行う。 ・移行先との支援方針・支援内容の共有や、子どもの状態・親の意向・支援方法についての伝達（ケース会議）を行う。 ・家族への情報提供や移行先の見学調整を行う。 ・移行先の受け入れ体制づくりへの協力を行う。 ・移行先への相談援助を行う ・進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助を行う。</p> <p>○保育所等と併行利用している場合における併行利用先との連携 ・併行利用先との子どもの状態や支援内容の共有（例：得意不得意やその背景、声掛けのタイミングやコミュニケーション手段の共有） ・併行利用の場合の利用日数や利用時間等の調整を行う。 ○同年代の子どもをはじめとした地域における仲間づくり ・地域の保育所等や子育て支援サークル、児童館、地域住民との交流を計画し、積極的に行う。</p>
	地域支援・地域連携	<p>○通所する子どもに関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援 ・子どもが通う保育所等や通う予定の学校・放課後児童クラブとの情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、児童発達支援計画の作成又は見直しに関する会議の開催を積極的に計画し行う。 ・子どもを担当する保健師や、子どもが通う医療機関等との情報連携や調整を行う。 ・子どもに支援を行う発達障害者支援センターや医療的ケア児支援センター、地域生活支援拠点等との連携を行う。 ・子どもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携を行う。 ・虐待が疑われる場合には、児童相談所や子ども家庭センターとの情報連携に努める。 ・児童委員、主任児童委員等地域の関係者等との連携を行う。 ・個別のケース検討のための会議を積極的に開催する。</p>	職員の質の向上	<p>○年間研修 ・虐待防止（身体拘束）に関する研修 ・事故防止に関する研修 ・感染症に関する研修 ・防犯に関する研修</p> <p>○月間研修 ・発達障がい全般に関する研修 ・保護者支援“ペアレントトレーニング”に関する研修 ・各自外部で受けた研修内容の共有</p> <p>○その他 ・他施設交流において、職員間の研修の実施</p>
主な行事等	<p>1月 初詣 七草がゆ 2月 豆まき 3月 おひな祭り 卒園、卒業式祝い 4月 入学式 進級祝いお花見 5月 こどもの日 6月 アジサイ祭り 7月 七夕 夏祭り体験 8月 パーベキュー体験 東京探検 9月 お月見 10月 ハロウィン コスモス畑 11月 七五三 消防署見学 12月 クリスマス 餅つき 正月飾り作り （年中行事を毎月実施）・親子心肺蘇生法体験 ・他施設交流会 ・地域のワークショップ参加 ・保護者おしゃべり会 ・親子制作活動</p>			